

2022年4月14日

アメリカ合衆国大使館気付

ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア大統領 閣下

アメリカ合衆国による臨界前核実験実施に抗議します

貴国が、2021年6月と9月に2回に渡り、ネバダ州で臨界前核実験を実施していたことが明らかになりました。2021年1月には、核兵器禁止条約が発効しており、核兵器廃絶へ向け新たな一歩を踏み出した国際社会の動きに逆行する行為であり、極めて遺憾です。

被爆者をはじめとする平和を希求する世界中の人々の切なる思いを踏みにじる行為で、到底容認できるものではありません。

私たちは唯一の戦争被爆国である日本の生活協同組合の連合会として、被爆者や全国の生協の仲間と共に、核兵器の非人道性について学び、人類が再び被爆者を生む過ちを犯さぬよう、核兵器廃絶を実現する取り組みを続けています。

今回の貴国の実験に強く抗議するとともに、今後計画されている一切の核実験を中止することを求めます。また、ウクライナに対するロシアの軍事侵攻では、ロシアが核兵器での威嚇をおこなうことなど、現実的な核兵器使用の危険性が高まっています。今こそ「核兵器なき世界」の実現に向けて、核兵器禁止条約に加わると共に、NPT（核兵器不拡散条約）で約束した誠実な核軍縮に取り組むことを強く求めます。

日本生活協同組合連合会